

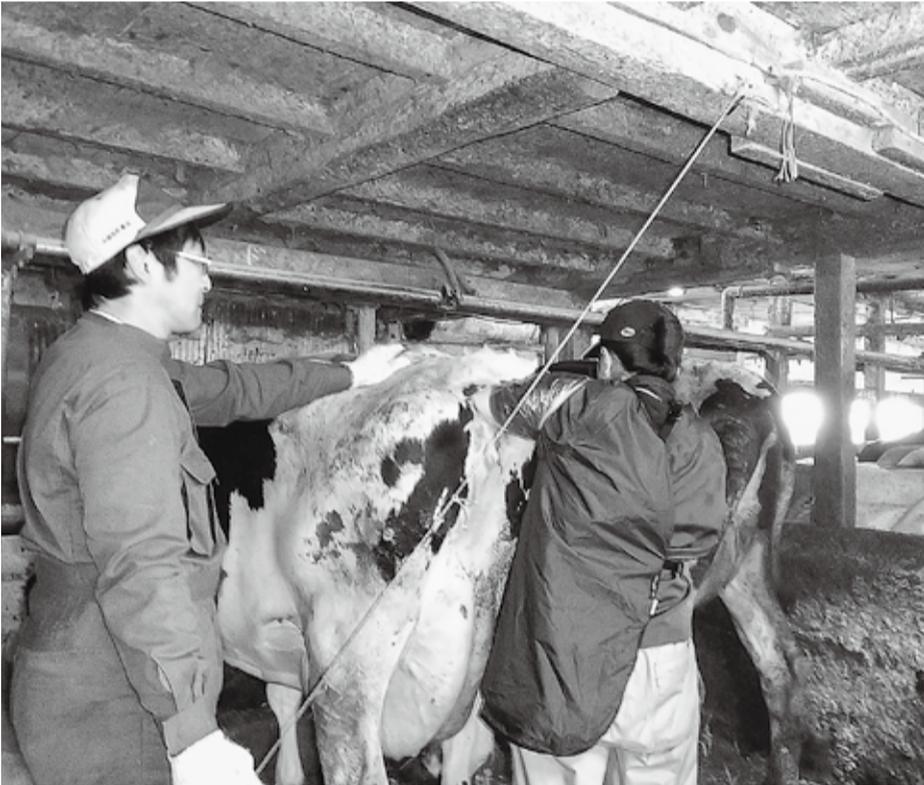
### 単組幹部養成セミナー

日時：10月24日(土)13:30～  
会場：TKPガーデンシティ札幌駅前

# 農協労働者

北海道単位農業協同組合・農業共済組合  
労働組合連合会(道農協労連)機関紙  
毎月1日発行 1部30円  
札幌市中央区北4条西1丁目 共済ビル4階  
Tel. 011(232)0676  
Fax. 011(232)2355  
URL: http://donokyororen.jp  
E-mail: mail@donokyororen.jp  
発行責任者 九村 信吾

## 職場で女性は笑っていますか!?



農業共済部会は「女性職員が働きやすい職場環境を目指しています。こうした状況を打開する為に、労働組合の取り組みで男性も問題意識を共有していくことが必要です。」  
先日、北海道獣医師大会に出席しました。発表者や出席者を見ても、産業動物の分野でたくさんの方々が活躍している様子が伺えました。  
私が就職した14年前は、産産動物に携わる女性獣医師がまだ珍しかった頃で、事実、私が働いている組合では、私が第一号の女性獣医師でした。その後、順調に女性獣医師が増え、今では組合で10人前後の女性獣医師が働いています。

### 「職場の現状と課題」

農業共済部会運営委員(宗谷地区共済) 藤森彩子

「動物の扱い、作業や気遣いがこまやか、丁寧」です。個人差はありますが、やはりここは女性ならではのかなと思います。それから、女性同士でないとできない話を農家の奥さんとするのもあり、それによって奥さんとの距離が近くなると個人的に仲良くなることもあります。私が蹄病の治療に行くとき、ご主人は牛を保定後にどこかへ消え、奥さんと私で作業をするといった農家もありました。このご主人は授精師が女性の場合も現場を奥さんに任せることが多いそうです。

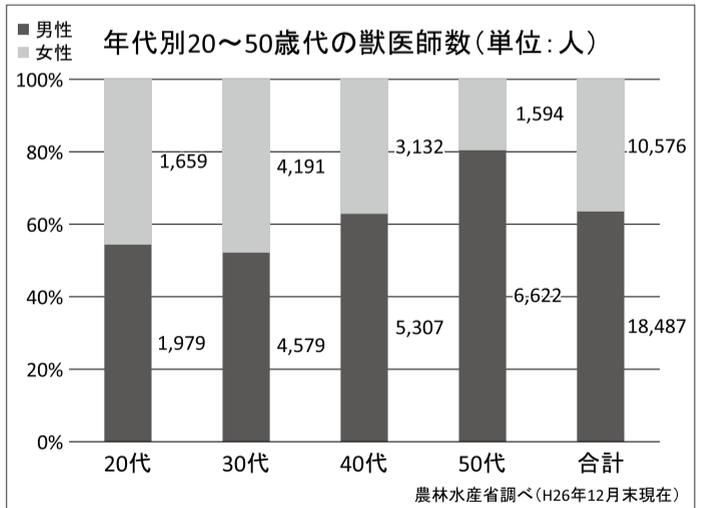
### 女性獣医師だからこのこまやかな対応

難しい…。身長や体力の面をカバーしようと、ちょっとした技術やコツを自分なりに習得し、手を尽くします。それでも無理なときは潔く助けを求めるのが、女性が産業動物の分野で仕事をやる上でポイントとなる気がします。トイレ問題は、新しい畜舎や作業員を雇用しているところでは現場にトイレが完備されていることが多く、往診途中に公共のトイレやコンビニがある場合も何とかなりますが、やはりトイレが無い現場が大多数で、私も身も何度か自宅にお邪魔させてもらっています。農家の方は快く貸してくださいました。

### 診療所設備も今後改善が求められる

### 産休・育休への理解、環境づくりが課題

現場では、女性ならでは大変な作業が大変さは、今更ですが、身長が低い、体力が劣る、仕事の途中でトイレを見つけないのが、女性ならではの課題です。産休・育休の取得についても、産休・育休が取得しやすい状況にすべきだと思います。そのために、職場内で様々な角度から理解を深めることが重要と考えます。これからは、女性獣医師が増えるにつれて、各職場はそれに対応する必要があると思います。そのために職員全員で向き合い、取り組み、職場全体がより一層働きやすいものとなっていくことを願います。



### 焦点

今年の米の概算金は昨年より良いもの、一俵1万円を少し越える程度。まさに「米作ってメシ食えね」という状況。農協協法改正と同時に、農業生産法人が「農地保有合理化法人」へと変わり、設立・運営の「農業に従事する」要件が大幅に緩和された。農業に従事しない人・会社も農地を保有し、法人運営を左右する可能性も。戦前、多くの農民は都会に住む地主(不在地主)に小作料を払って農地を耕していた。「農地は本来耕作者のものである。反当たり四俵たらずの収穫のうち二俵を地主に納めていては農民の生活は成り立たない」(鷹栖町農民連盟記念誌「農魂燃ゆ」より)。「土地を農民へ解放せよ」と求める小作争議が全国各地で起こった。地主と国は指導者を逮捕し徹底的に弾圧したが、戦後、農地改革として実現した。安倍「農政」は、先祖が血と汗で勝ち取った成果を壊し、戦前の「不在地主」「小作人」を復活させる事になるので、小作争議支援で旭川へ来た山本宣治は「戦争は地上最大の悪であり(中略)軍事費を少なくし国民の生活を高めよう」とも訴えている。平和問題も農政も90年前と課題は共通している。同じ過ちを繰り返さないことが必要である。(K)